

「実際に新規就農したからこそ気付けたこと。

小さくとも日々前進あるのみ。」



梶谷 晋平 (42歳) Uターン
(八幡浜市)

1 就農の動機・理由

青空市店長時に農業に関心を持つようになり、非農家出身で農業とその暮らしの経験がない中で、いきなり地元で農業をするよりも縁もゆかりもない長野で農業を経験し、農業への関心を深め、愛媛のみかん産地である地元で、みかん栽培に取り組みたいとの思いを強くしました。

2 農業経営の概要

○経営の展開

| 項目 | 就農時の経営 (2018年) | 現在の経営 (2019年) | 将来の経営 (2023年) |
|------|----------------------------------|------------------|----------------------------------|
| 労働力 | 男1人(本人) お手伝いプロジェクトのアルバイト活用、友人 | 男1人(本人) 〃 | 男1人(本人) 〃 |
| 経営耕地 | 樹園地 130 a | 樹園地 185 a | 樹園地 200 a |
| 経営内容 | 日南1号 22 a | 日南1号 22 a | 日南1号 22 a |
| | 宮川早生 30 a | 宮川早生 27 a | 宮川早生 27 a |
| | 伊予柑 15 a | 伊予柑 30 a | 伊予柑 30 a |
| | 不知火 15 a | 不知火 30 a | 不知火 30 a |
| | せとか 15 a | せとか 15 a | せとか 15 a |
| | 清見 20 a | 清見 40 a | 清見 40 a |
| | はるみ 5 a | はるか 5 a | はるか 5 a |
| | はるか 5 a | はるみ 5 a | はるみ 5 a |
| | その他 3 a | その他 11 a | 石地 10 a 南柑20号 10 a その他 6 a |

○農業用施設

倉庫 1棟

○主要農業機械

軽トラック 1台

小型運搬車 1台

1t車 1台

選果機 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県八幡浜市

職歴

会社勤務、青空市店長

長野県レタス農家アルバイト

就農研修歴

柑橘栽培研修 (H29.1~30.3)

就農年月 平成30年4月

(2) 就農時の思い

約1年間の研修で経験した栽培管理に加えて、日々数々の雑務があり、非農家がたった一人で農業経営を軌道に乗せるのは、やりがいはあるけれども困難であることを多くの先輩に言われ、身の引き締まる想いでスタートを切ったのを思い出します。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

J A指導員、県普及職員の方等から直接教えて頂いたり、J Aや県主催の栽培講習会に参加したりすることによって、技術向上を図りました。

(2) 資金の準備

農業次世代人材投資事業、各種助成金、預貯金

(3) 農地・住宅の確保

J Aにしうわの農業振興部や西宇和みかん支援チームの皆さん、また地域の諸先輩にご尽力いただき、研修期間中に農地を紹介してもらいスタートできました。私はUターンであるため、住まいは今のところ「実家」にて暮らしています。

(4) その他苦労したこと

親の継承でない「新規就農者」であることを前提としてスタートし、実際に摘果であったり収穫であったり日々の農作業を続けていく中で「失敗しないための情報」が乏しく、まず失敗が先に来るので苦労します。しかし、経験値を積んでいるのだから落ち込んだりはしません。前向きに頑張るしかありません。

5 農業経営の特徴

温州みかんに始まり中晩柑も多品種栽培していますが、基本的にはひとりで営農管理をしています。摘果と収穫については友人知人を雇用したり、「お手伝いプロジェクト」を活用しています。

6 これからの夢

農業に取り組む先輩たちに憧れて就農しましたが、実際に従事してみると実に奥深く、のめり込めばのめり込むほど、憧れは、尊敬へと変わってきました。今はまだ夢を語る余裕もない日常。というのが正直なところです。まずは「自分ひとりが生活できればそれでいい」という農業からの脱却」は目標にしなければならぬと考えています。

7 成功したキーポイント

成功したとはまだ言えませんが、今こうして自分が農作業に取り組んでいるのは、応援してくれた諸先輩の皆さんのおかげであると心から感謝しています。誰に頼まれて始めた農業でもありません。自分がやりたいと言い出し、ここまで導いていただいて、感謝しかありません。

8 就農を目指す方へのアドバイス

元気があれば、多くのサポートを受けて、農業を「スタートすることは可能」だと思います。そこから「発展・継続」していくためには困難もあるでしょう。しかし新規就農者はあなただけではなく、私だけでもなく、日本中にたくさんいます。みんな同じように悩みを抱えていると想像します。私もこれからです。ぜひ情報交換していきながら、共に頑張ってください。

○ 指導機関からのひとこと

栽培技術の向上意識も高く、日々努力されておられます。その前向きに取り組む姿勢が、更なる経営発展につながっていくことと思います。今後、地域の重要な担い手に成長されることを期待しています。

執筆機関 八幡浜支局地域農業育成室
電話番号 0894-23-0163



摘果作業